

## ジェネリック医薬品について

### 【調査の目的】

現在、我が国においては、諸外国に比べて普及が進んでいないジェネリック医薬品（※）の使用割合を引き上げるための施策を講じておりますが、各種調査によるとその普及はなかなか進んでいないようです。ジェネリック医薬品は、先発医薬品（※）と効果が同じでありながら一般に価格（薬価）が安いことから、普及が進めば、医療の質を維持しつつも医療費にかかる患者負担の軽減が期待できます。また、国全体の医療費の伸びも抑制できるといわれています。このため、本県においては、本年、ジェネリック医薬品の使用を促進するための協議会を立ち上げたところです。

そこで、ジェネリック医薬品を利用する側である皆様のご意見をお聴かせいただき、今後事業を進めていく上での参考とさせていただきたいと思っております。

（保健福祉部薬務課）

### ※ ジェネリック医薬品とは

後発医薬品ともいいます。先発医薬品と同一の有効成分を同一量含む同一投与経路の製剤で、用法・用量、効能・効果が原則的に同一で、先発医薬品と同等の臨床効果が得られる医薬品です。先発医薬品の有効性・安全性が再審査されたもので、通常、特許が切れた後に発売されます。現在使われている先発医薬品の全てに、対応するジェネリック医薬品が発売されているわけではありません。薬価（薬の値段）は、一般に先発医薬品より安く設定されます。なお、先発医薬品も後発医薬品も病院や保険薬局で調剤される医療用医薬品です。

### ※ 先発医薬品とは

新規成分で、新しい効能・効果等を有し、基礎的試験、臨床試験を経て、国に承認された医薬品です。研究、開発に多大な時間と労力を要し、新規性や画期性、外国での価格等を考慮して薬価が設定されます。特許取得後20～25年、発売後では、通常、10年程度は独占的に販売できます。

問1》 あなたは、ジェネリック医薬品を知っていますか。次の中から1つだけ選んで、別添の回答票に番号を記入してください。

- 1 よく知っている 15.3%
- 2 大体知っている 47.6%
- 3 言葉だけは知っている（聞いたことがある） 31.5%
- 4 知らなかった 5.2%

(問1)

	合計	性別		年代別						地区別			
		女性	男性	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	北九州	福岡	筑豊	筑後
回答数	248	150	98	40	59	41	48	38	22	66	101	31	50
件数計	248	150	98	40	59	41	48	38	22	66	101	31	50
(%計)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1	38	21	17	8	13	6	5	3	3	12	20	0	6
	15.3%	14.0%	17.3%	20.0%	22.0%	14.6%	10.4%	7.9%	13.6%	18.2%	19.8%	0.0%	12.0%
2	118	73	45	19	30	20	23	19	7	30	51	18	19
	47.6%	48.7%	45.9%	47.5%	50.8%	48.8%	47.9%	50.0%	31.8%	45.5%	50.5%	58.1%	38.0%
3	78	48	30	11	16	12	16	14	9	21	26	10	21
	31.5%	32.0%	30.6%	27.5%	27.1%	29.3%	33.3%	36.8%	40.9%	31.8%	25.7%	32.3%	42.0%
4	13	7	6	2	0	3	3	2	3	3	4	2	4
	5.2%	4.7%	6.1%	5.0%	0.0%	7.3%	6.3%	5.3%	13.6%	4.5%	4.0%	6.5%	8.0%
無回答	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	0.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%

(パーセンテージは、各属性毎の回答者数に対する割合)

問2》 あなたは、医療機関からジェネリック医薬品を処方されたことがありますか。  
 次の中から1つだけ選んで、別添の回答票に番号を記入してください。

- 1 ジェネリック医薬品を処方されたことがある 13.3%
- 2 ジェネリック医薬品を処方されたことがない 27.8%
- 3 ジェネリック医薬品を処方されたかどうかわからない 44.8%
- 4 医療機関から薬を処方されたことがない 14.1%

(問2)

	合計	性別		年代別						地区別			
		女性	男性	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	北九州	福岡	筑豊	筑後
回答数	248	150	98	40	59	41	48	38	22	66	101	31	50
件数計	248	150	98	40	59	41	48	38	22	66	101	31	50
(%計)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1	33	23	10	8	10	5	6	4	0	10	15	2	6
	13.3%	15.3%	10.2%	20.0%	16.9%	12.2%	12.5%	10.5%	0.0%	15.2%	14.9%	6.5%	12.0%
2	69	44	25	11	20	8	17	8	5	19	25	10	15
	27.8%	29.3%	25.5%	27.5%	33.9%	19.5%	35.4%	21.1%	22.7%	28.8%	24.8%	32.3%	30.0%
3	111	65	46	16	23	19	19	21	13	31	43	14	23
	44.8%	43.3%	46.9%	40.0%	39.0%	46.3%	39.6%	55.3%	59.1%	47.0%	42.6%	45.2%	46.0%
4	35	18	17	5	6	9	6	5	4	6	18	5	6
	14.1%	12.0%	17.3%	12.5%	10.2%	22.0%	12.5%	13.2%	18.2%	9.1%	17.8%	16.1%	12.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(パーセンテージは、各属性毎の回答者数に対する割合)

問3》 あなたは、先発医薬品とジェネリック医薬品のどちらでも処方してもらえる場合、どちらを希望しますか。次の中から1つだけ選んで、別添の回答票に番号を記入してください。

- 1 ジェネリック医薬品の処方を希望する →問4へ 35.1%
- 2 ジェネリック医薬品の処方希望せず、先発医薬品の処方を希望する  
→問5へ 60%
- 3 どちらでも良い。医師、薬剤師の判断に任せる 27.0%
- 4 その時にならないとわからない（効果や支払金額等について説明を受けてから決める） 31.0%
- 5 その他（具体的に） 0.4%

**(問3)**

	合計	性別		年代別						地区別			
		女性	男性	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	北九州	福岡	筑豊	筑後
回答数	248	150	98	40	59	41	48	38	22	66	101	31	50
件数計	248	150	98	40	59	41	48	38	22	66	101	31	50
(%計)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1	87	40	47	10	27	12	13	17	8	24	37	9	17
	35.1%	26.7%	48.0%	25.0%	45.8%	29.3%	27.1%	44.7%	36.4%	36.4%	36.6%	29.0%	34.0%
2	15	7	8	0	4	2	5	1	3	2	8	3	2
	6.0%	4.7%	8.2%	0.0%	6.8%	4.9%	10.4%	2.6%	13.6%	3.0%	7.9%	9.7%	4.0%
3	67	40	27	12	15	9	12	12	7	21	20	13	13
	27.0%	26.7%	27.6%	30.0%	25.4%	22.0%	25.0%	31.6%	31.8%	31.8%	19.8%	41.9%	26.0%
4	77	61	16	18	13	17	17	8	4	18	36	6	17
	31.0%	40.7%	16.3%	45.0%	22.0%	41.5%	35.4%	21.1%	18.2%	27.3%	35.6%	19.4%	34.0%
5	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	0.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
無回答	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
	0.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%

(パーセンテージは、各属性毎の回答者数に対する割合)

**5 その他（具体的に）**

- ・ 自分の事ならいいが、家族の事や命に関わるような病気だともっと重大な決意があるかも。

問4》 問3で、1と答えた方にお尋ねします。

ジェネリック医薬品の処方を希望する理由は何ですか。次の中から該当するものをすべて選んで、別添の回答票に番号を記入してください。

- 1 医師または薬剤師が、ジェネリック医薬品を勧めるから 172%
- 2 家族、友人等が、ジェネリック医薬品を勧めるから 80%
- 3 支払金額が、安くなるから 98.9%
- 4 ジェネリック医薬品の方が、自分に合っているから（味、大きさ、使用感など） 3.4%
- 5 その他（具体的に： ) 3.4%

(問4)

	合計	性別		年代別						地区別			
		女性	男性	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	北九州	福岡	筑豊	筑後
回答数	87	40	47	10	31	14	18	18	11	26	45	12	19
件数計	114	51	63	17	31	15	18	22	11	35	44	13	22
(%計)	131.0%	127.5%	134.0%	170.0%	100.0%	107.1%	100.0%	122.2%	100.0%	134.6%	97.8%	108.3%	115.8%
1	15	6	9	4	2	3	2	2	2	7	3	2	3
	17.2%	4.0%	19.1%	40.0%	6.5%	21.4%	11.1%	11.1%	18.2%	26.9%	6.7%	16.7%	15.8%
2	7	3	4	2	2	0	1	1	1	2	2	2	1
	8.0%	2.0%	8.5%	20.0%	6.5%	0.0%	5.6%	5.6%	9.1%	7.7%	4.4%	16.7%	5.3%
3	86	40	46	10	27	12	12	17	8	23	37	9	17
	98.9%	26.7%	97.9%	100.0%	87.1%	85.7%	66.7%	94.4%	72.7%	88.5%	82.2%	75.0%	89.5%
4	3	1	2	1	0	0	1	1	0	2	1	0	0
	3.4%	0.7%	4.3%	10.0%	0.0%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%	7.7%	2.2%	0.0%	0.0%
5	3	1	2	0	0	0	2	1	0	1	1	0	1
	3.4%	0.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	5.6%	0.0%	3.8%	2.2%	0.0%	5.3%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(パーセンテージは、各属性毎の回答者数に対する割合)

5 その他（具体的に）

- ・ ジェネリックは有効性、安全性が再審査され、長年人々に使用されているので危険性が無いと思う。
- ・ 所属する健康保険組合から医薬品情報が送られてきており、ジェネリックへの変更をすすめられたことがある。
- ・ 国の医療費支出が莫大になり、財政を圧迫しているなので、効果と安全が約束されているのであれば、積極的にジェネリック医薬品を使用したほうが良い。安いのであればなおさらのことである。

問5》 問3で2と答えた方にお尋ねします。

ジェネリック医薬品の処方を希望しない理由は何ですか。次の中から該当するものをすべて選んで、別添の回答票に番号を記入してください。

- 1 医師または薬剤師が、ジェネリック医薬品を勧めないから 33.3%
- 2 家族、友人等が、ジェネリック医薬品を勧めないから 6.7%
- 3 期待するほど、支払金額が安くないから 6.7%
- 4 以前、利用したが、自分に合わなかったから（味、大きさ、使用感など） 13.3%
- 5 効果や安全性等に対して、不安があるから 66.7%
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_） 13.3%

(問5)

	合計	性別		年代別						地区別			
		女性	男性	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	北九州	福岡	筑豊	筑後
回答者数	15	7	8	0	4	2	5	1	3	2	8	3	2
件数計	23	13	10	0	8	2	8	2	3	5	11	4	3
(%計)	153.3%	185.7%	125.0%	0.0%	200.0%	100.0%	160.0%	0.0%	100.0%	250.0%	137.5%	133.3%	150.0%
1	5	3	2	0	1	0	3	0	1	0	2	2	1
	33.3%	42.9%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	60.0%	0.0%	33.3%	0.0%	25.0%	66.7%	50.0%
2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
	6.7%	14.3%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	6.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
4	2	1	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0
	13.3%	14.3%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%
5	10	6	4	0	3	1	4	1	1	1	6	2	1
	66.7%	85.7%	50.0%	0.0%	75.0%	50.0%	80.0%	100.0%	33.3%	50.0%	75.0%	66.7%	50.0%
6	2	1	1	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0
	13.3%	14.3%	12.5%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	0	2	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0
	13.3%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%

(パーセンテージは、各属性毎の回答者数に対する割合)

6 その他（具体的に）

- ・ 以前先発品からジェネリック医薬品に切り替えたが、全然効かなくて症状が悪化した。
- ・ 薬のコーティングの方法の違い等により、現行の薬と同じ効果が得られるかわからないから。

## 【 自由意見 】

### ◆ ジェネリック医薬品について

- 病院等でもっとジェネリックの薬について知らせる冊子や説明が必要と思います。値段も気になるが、値段だけじゃない安全性（副作用等）が大切です。
- ジェネリック医薬品についての説明を医師や薬剤師から受けたことはありません。そのような選択の余地がある場合は患者の方にちゃんと説明はあるのでしょうか。
- 自分自身もっとジェネリック医薬品についての知識を持たないと、と思った。
- 投薬には、医者が患者に明確に説明してほしい。
- ジェネリック医薬品という言葉は浸透しているが、実際は使ったという人も身近にいないし、私自身も使った事がない。安全性が十分に確認されれば、使っても良いかなとも思う。
- 使ってみたいが医者が選んだ薬を拒否しているようでいいづらい。選択権をあたえるべき（どちらにするか医者からきくとか）。
- 私個人が医薬品に対し無関心であること。
- ジェネリック医薬品をもっと知らせるべきで、活用されていないように思う。
- 広報活動も進んでおり理解している人も多いと思うが、現場の医師や薬剤師などがもっと情報提供してくれたらと思う。
- 今はまだ定期的に薬を飲むような状況ではないのですが、将来そのようになったときには、是非ジェネリック医薬品を使いたいです。
- ジェネリックが初耳でした。
- ジェネリック医薬品を処方してもらいたいです。医療機関が処方したくないようです。行政面での強い普及をお願いします。
- ジェネリック医薬品の認知度は高いと思いますが、普通、病院に行くと医師から言われるがままに薬を処方してもらい、専門的なことはわからないためこちらからは言い出しにくい状況があるので、なかなか普及しないんじゃないかと思います。
- 製薬会社の競争はあるが、行政としては、県民の負担を減らすことを第一として、ジェネリック医薬品の使用を医師会にもっと強く働きかけてほしい。
- 医薬品の事は、知識がないと判断するのは難しいと考えます。
- 医者に対し、ジェネリック医薬品を処方するよう啓発活動をはかる必要がある。医者と薬品販売員とのなれあいの排除をはかるべきである。医者は薬品に対し、全くの素人であるところが問題である。
- 今、物価が上がっている物が増えてきているので、安くなるというのはとても引きつけられるが、具体的にどのくらい安くなるかや、リスクについてわからない。
- 実際のところ、ジェネリックが処方されるかどうかは医師の采配に関わってくると思います。
- 現状では、ジェネリックの方が安く、患者負担が減ると言っても、利用は進んでいない。なぜかといえば、医者側が製薬会社との関係で、ジェネリックをあまり使おうとしていないこと。それと、患者側から安価な「ジェネリックを処方して下さい」と医者に言いにくいこと。医者が処方しなければジェネリックは使われないのだから、結局そこに問題がある。ジェネリックは確かに安い。半額以下のものもある。処方箋に欄を作り、ジェネリック希望か否か、患者本人が書き込めるようにしたらいいと思う。医者だけにその使用するかどうかの判断をまかせていても、あまり進まないだろう。患者が決められるようにしたらいいと思う。
- ジェネリック医薬品を希望する時は長期間服用せねばならぬ時です。ドクターも

患者に十分説明する必要があります。本人の体質に合っているかどうかが一番です。

- まったく同じ効果があるのに何故普及しないのか不思議です。医療機関がもっと真剣に取り組む必要があると思います。
- 医療費が高くなり、公私ともに財政の負担が大きくなっているのです、このようなことは進める必要がある。
- 医療費が高くて治療を受けることができない人達のためにも早急にジェネリック医薬品を普及させてほしいです。医療費が本当に高いです。
- 今まで医師に先発医薬品と後発医薬品が選択できる事や、その種類についても説明された事はありません。メニューに無い物を頼むようで言いづらいです。
- 医師等が皆さん（患者）にわかりやすく説明して欲しい。できたらパンフレット等を配って欲しい。
- 体に入るものなので本当に安全なのか、今迄も医薬品には問題が多く、良いものであれば医師や薬剤師が賛成すると思われる。医師等が進めないのは疑問が残る。
- 医師、薬局への働きかけ（使うように）。患者からは言いづらい
- 効果が同じで安くなればかまわないと思います。しかし医療機関で特に意識した事はありません。
- ジェネリック医薬品がまだあまり知られていないから、今後の課題とも言えるのでは・・・？多少不安もある。
- 一般人に安心感を与えられる様な取り組みが必要。一旦薬の副作用（薬害）が出てからでは遅いので検査、研究は重要である。
- 大牟田市は、最近、院外処方箋を使う事があるが、調剤薬局のあり方に不満がある。患者に無断で他の病院でもらった薬をチェックしている等、何か言うと薬をチェックするのは薬剤師の義務だと反論した。ジェネリック医薬品が本物かどうか疑問に思う。
- テレビのCMで時々見ることもあるが、どういう病気に効力がある薬品なのか、すべての病気に対してそれぞれの薬品があるのかよく判らないし、医師や薬局から適切な説明が無い限り、まだ患者側からは尋ねにくいのではないかと思います。
- 薬については医師まかせになっていることが多いと思う。ジェネリック薬品がある場合でも患者にはわからないことも多いのではないかと思います。
- ジェネリック医薬品の価格が安いのは魅力だが、自分の症状にあった薬が全部ジェネリック医薬品にはならないかもしれないのが残念だ。
- ジェネリック医薬品を使用したい。医療費は少しでも安くしたいからです。
- 治ることよりも新たな病にかからない事が一番の薬に対する問題だ。説明不足で副作用で亡くなってからでは遅すぎる！！
- 病院で積極的に使われるならそれでいいと思いますが、病院が考慮しているのならそれでいいと思う。特別に使用とは思わない。
- テレビのCMでの知識しかない。病院等が積極的にすすめてくれれば安心感がもてるのではと思います。
- 母（68才）が病院で、「ジェネリック医薬品が安くていいと聞いたのでお願いしたい」と言うと医師は不信な顔をし、「何で知ってるの？」と言われ、結局「安いとか高いとか値段だけで決めてはいけない」と処方してもらえなかったそうです。説明不足だと思います。
- テレビの宣伝位でしか知りませんし、病院にあまり長期にかかった事がないので知りません。友達に何十年も糖尿病で薬をもらっている人がいるけど知らないと言っていました。私も教える程の知識はもっていません。

- ・ 知識不足・経験不足で解答がよくわからなかった。
- ・ 「ジェネリック医薬品でお願いします」というのはかなり勇気がいる事です。薬に対する知識もないのに、そんな事を言ったらお金を惜しんでいるように思われたり、笑われたりするのではないかと考えてしまう。
- ・ ジェネリック医薬品を処方してもらいたいと思いますので、一日も早くそういう方向にお願いしたいです。
- ・ もっとポスターなど貼ってPRすべきである。
- ・ ジェネリック医薬品の効果や副作用などの情報をもっと明確にして、患者自身に選ばせるようにするのがベターなのでは？
- ・ 今後、医療費負担の軽減を図るためにも、薬の効能が同等であればジェネリック医薬品をもっと医療現場で使用されるべきだと思う。その際、ジェネリック医薬品を使用することを患者に正確に説明をして欲しい。
- ・ ジェネリック医薬品を医師から勧められた事はありません。聞くと答えるというようにもっと積極的に対応してほしいものです。
- ・ 薬代金の負担を安くしようと「ジェネリック薬」の処方をお願いしたら、薬価が安く利益が取れないとの理由で拒否されました。
- ・ 医薬品の成分、治療効果が同じ場合、ジェネリック医薬品をもっと利用促進して、医薬品費単価をおさえ、総合的治療費を抑えることが、個人にも行政にも有益なことだと思います。しかし、今自分が飲んでる薬が、ジェネリック医薬品か、もしくは代用可能な医薬品があるかという情報はありません。それがわかるといいのですが、私の所属する保険組合は、その情報をくれるのでとても親切ですし、利にかなっています。
- ・ 薬は副作用など怖いので、薬の情報公開を十分にしてほしい。
- ・ ジェネリック医薬品の普及のためには医師が積極的に患者に医薬品を勧める必要があると思います。
- ・ 以前処方されたジェネリック医薬品は全然効きませんでした。安全性に問題があるとの話を聞き不安です。ジェネリック医薬品の処方を勧めるのではなく、先発医薬品を安くする事を検討してください。
- ・ 薬を処方する時最初にどちらにするか医師が聞いて欲しいと思います。
- ・ 詳細はよくわからないが、副作用がなく安価ならジェネリック医薬品で十分だと思う。
- ・ ジェネリック医薬品の利用を積極的に進めると新薬開発メーカーの新薬が高いものになりはしないだろうか？
- ・ 医療費は、本当にきつい出費になります。医療費がかかることでもっと具合が悪くなりそうなことも多々あります。安くできるのであれば良いことだと思います。
- ・ 日常の薬局で購入するような医薬品にはジェネリック医薬品を購入している。しかし、医療機関にかかった場合、その医薬品に対する知識もなく、医師の判断に任せるほかない。医療費の高騰を抑えるために、ジェネリック医薬品を利用した方がいいということであれば、医師は患者に説明し、使用したらいいと思うが、現状ではそのような説明は何もない。説明しないで医師の判断に任せているのかどうか、知りたい。
- ・ 素人ではなかなかいい判断が出来ないから、医師や薬剤師に任せた方がいいと思います。ただジェネリック医薬品は普及されるといろんな効果は期待できると思います。
- ・ ジェネリック医薬品のコマーシャルは、歌えるほど耳にしているが、薬品会社の

コマーシャルかと思っていた。もう少しわかりやすくつたえてほしいと思う。

- ・ 医療機関、医者によって左右されるのはどうかと思います。公にジェネリックについての知識を広めてもらいたいと思います。
- ・ ジェネリック医薬品は、なかなかみんなに浸透しないと思う。安いし効き目も変わらないのだからもっとメジャーになってもいいはずなのだが。宣伝の仕方が地味なんだと思う。薬剤師なども積極的に勧めないので、ジェネリック医薬品の信用度が向上しないんだと思う。
- ・ 病院でジェネリック医薬品を使用するかどうか尋ねられたことは過去1回しかない。その他の病院では何も聴かれないので対処の仕様がいないというのが現状ではないか。
- ・ 効果が同じであればジェネリック医薬品でいいが医師が勧めないので言い出しにくい。
- ・ テレビのコマーシャル等で聞いた事がありますが実際私の身の回りでこの薬を処方してもらった人はいないです。かかっている病院がジェネリックを扱っているかもわかりません。ひょっとしたら知らないうちに処方されているのかもしれない。もし普及させるとしたらその際、どこの国のなんという会社の作っている薬であるのかもちゃんと告知したうえで紹介してほしいと思います。
- ・ ジェネリック医薬品は、先発医薬品に比べ価格の他に何が違うのか？この点をもっと詳しく知りたいと思う人は多いと思う。
- ・ 薬は安くて効き目があることが一番大事。そして、海外で認定され効果のある薬を一日でも早く厚生労働省は使用認可すべきだと思う。
- ・ 成分が同じでも、私が使ったジェネリック医薬品は口に入れてすぐに舌の上で溶けました。最初の薬とあきらかに別物でした。命がかかっています。怖かったです。
- ・ テレビCMにてジェネリック医薬品について見聞きしたことがあります。しかし私の行く病院・調剤薬局では、その言葉を一度も聞いたことがありません。医師の言われるがまま、薬剤師の出されるがまま薬を受け取るのが普通で、ジェネリック医薬品という言葉を出すこともありません。もし普及させたいのなら医師や薬剤師の教育をすべきではないでしょうか。どうも儲からないジェネリック医薬品を病院・薬局があえて出していないような気がします。
- ・ 今まで、医師にかかっても医師からジェネリック医薬品の説明を聞いたことが無いのが、現状です。やはり、処方する立場の医師が率先してジェネリック医薬品のことを説明し患者が希望するかどうかを確認することが必要だとおもいます。
- ・ 投薬は医師の判断だけではなく、患者も勉強して本当に後悔しない方法を探るべきである。そのためにも情報開示が必要だ。
- ・ 薬を処方される際、先発品かジェネリック品かの選択を迫られたことはない。医師・薬剤師の認識不足もあるのではないか。
- ・ 言葉や内容までは知っているものの、医師や薬剤師からその説明を受けたことがないので、よく分かりません。説明をしてもらった上で選択できるようにしてもらえればと思います。一概に同じ成分で安いというだけで、選択することはできません。
- ・ 医療費を少しでも抑制するためにも、患者と医師とが協力して、なるべくジェネリック医薬品を使用するようにすべきだと思います。
- ・ いくらこちらがジェネリックで、と言っても「うちにはありません」等の回答ばかりで実際に処方してもらった事はありません。県のホームページなどで、ジェネリックを推進している薬局を公開してもらえれば、と思います。

- ・ 病院に行かない限り、あまり知るすべがないので情報提供をしてほしい。
- ・ なかなかジェネリック医薬品を処方してくれる医師自体少ない気がします。医師会がこの国で最後の護送船団方式を維持していると思います。
- ・ 健康食品などが横行している昨今。自治体からの告知や特別番組をくんでほしい。
- ・ 病院にかかったり、薬局を利用する機会が少ないためよく分かりません。
- ・ テレビCMで見る限り、患者の方から意を決してお願いしないといけないようなイメージがある。ジェネリックで医療費が抑えられるメリットがあるなら、医療機関のほうにもっと積極的に処方するよう働きかけてほしい。
- ・ 多くの医師が患者の意志を聞かずに先発医薬品を出す為、患者に選択権が無い。医師も忙しい為、患者への説明に時間を取られたくないのだと思う。病院での張り紙でジェネリック医薬品の存在を知ったが、全ての医薬品にジェネリック医薬品が存在するのでは無いと思うので、どの医薬品にジェネリック医薬品が存在するのか分かる様にして欲しい。また、ジェネリック医薬品は一昔前の薬という印象があり、効果の期待が心配。
- ・ 私自身は、風邪薬等の臨時的に飲む薬はジェネリックで構いませんが、乳幼児の薬や服用しないと命に関わるような大事な薬はジェネリックではなく先発品を希望すると思います。しかし、お医者さんの判断を患者側から無理に変更してくれとも言にくいので、やはり、出された薬を黙ってもらう形にしかならないのでは、と思います。
- ・ 古い薬のようなイメージがあるので正しい知識を普及して欲しい。
- ・ ジェネリック薬品については、新聞等でよく見かける言葉である。医療費のコスト削減の必要性もあり、啓発をすすめて私達の意識を変えていく必要があるだろう。ただし、特許切れということはその時点でさらに効能の進んだ医薬品が登場している可能性もあるということなので、ジェネリック薬品を使う使わないの判断は医師の説明をよく聞いてから決めたいと思っている。
- ・ 薬局に行ってジェネリックでお願いしますと言わないとジェネリック処方してくれない。薬局に積極的に患者に問いかける指導が必要、高齢者は当制度を知らずに高価な薬を受け取っている。その場合先発医薬品とジェネリック医薬品での薬代支払い費用を見積もり比較を示す必要あり。私はかつて薬局で費用比較をたずねたことがあるが、嫌な顔をされた経験がある。
- ・ ジェネリック医薬品に変えたらどのようなメリットがあるのかの具体的な説明がない。また、医師が勧めることには口を挟みにくい。
- ・ 上記にも記したように、国の財政、県の財政などどこも逼迫している。その中でも、医療費の伸びが大きく、国も大変な状況に成ってきている。薬品会社は設けすぎであり、安いこのような薬があるのであれば、もっと積極的に、病院などに宣伝すべきだ。安価で安全であるのであれば、大いに結構ではないか。
- ・ もう少しジェネリック医薬品についての説明がほしい。
- ・ ジェネリック医薬品を考慮するほどの大病をしたことがないので、実態はわからないが、自分からは医者に申し出ることは難しいので、医者が配慮して、患者の意向を確認するようにならないと、なかなか普及しないのではないか。
- ・ ジェネリック医薬品は使用者の金銭的不安の解消から大いに使用していただきたいと思うが、医薬品の開発等に関していえばそれだけに固執してしまっただけは先進は望めない。新薬を開発した会社や機関に対しては保護、コスト面での補助のほか優遇対策等の根本的医薬品開発の制度見直しをお願いしたい。
- ・ 医療費の問題はこれから高齢化社会では、深刻な問題になると思う。特に年金が

もらえない層などには、医療費の負担は深刻な問題となるので、ジェネリック医薬品がその負担を少しでも軽減してくれれば、助かる。

- ・ 医師に頼みにくいので、処方された後でも薬剤師に頼めると、嬉しい。
- ・ 未だかつて医者又は薬剤師からジェネリック医薬品の提案をうけたことはありません。病院の待合室でもジェネリック医薬品に関するポスターなども目にしたこともありません。TVのCMのようにあたりまえのこととして選択できるよう、県の方の施策を期待します。
- ・ 処方する薬の説明さえしない医者もいる。してくれる医者を親切に感じるが、本当なら当たり前なことなのに。診察後にその症状に合う薬を提示し（値段と効用の説明が書いてある書式を作成）、患者が丸印をつけるなど、簡単にしたプリントを用意しておくで親切。
- ・ 医師がもっと積極的に勧めるべきだと思います。持病があり、ずっと通院しておりますが、どの病院でもジェネリックについて言われたことなど1度もありません。「製薬会社とのつながり（損得）があるから勧めないんだな・・・」と勝手に理解しております。
- ・ 安価なジェネリックを安全性や効能に問題がなければもっと浸透させる方法を考えてほしい。ジェネリックがここまで知られてきてるのに処方しようとする医師に出会ってない。ずっと不思議でならなかった。もし画期的な薬なのであれば医師がきちんと患者に選択の権利を与えるべきであり、そういった指導を行政もしてほしい。勧められないということは、製薬会社と医師の癒着があるのか、安全性に問題があるのか・・・
- ・ ジェネリック医薬品の安全性をもっと伝えて欲しい。またその種類も増えればと思います。
- ・ ジェネリック医薬品と先発医薬品との病気に対する効果が知りたいと思います。ジェネリック医薬品は価格が安いということしか知らないのが現実です。
- ・ 素人には、先発医薬品とジェネリック医薬品の詳しい違いが十分にわかりませんが、効果が同じであるのなら、薬の選択の幅が広がって良いと思います。
- ・ ジェネリックは良い事ばかりが強調されているように感じます。毎日薬を服用する者としてはその効果と副作用が気になります。
- ・ まだ、あまりジェネリック医薬品の普及はそこまでされてないと思います。値段が安いのはいいですが効果がやはり普通の薬と比べて私には効きが悪いような気がします。効能は同じでもその人その人に薬の合う、合わないがあるので薬を選ぶのは本人次第に結局なるのではないのでしょうか。
- ・ 長期的に投与しなければならぬ薬を処方された場合はジェネリックか先発医薬品かの選択をさせてもらっているのかもしれないが、普段の一時的に処方される薬もその選択ができたらありがたいと思います。処方されたり、処方される段階で、そのタイプの薬にジェネリック医薬品があるのかもわからないので「ジェネリックをお願いします」とはこちらからはなかなか言い出しにくい。医師や薬局の方から「ジェネリックも選択できる」と言う情報は行って欲しいです。
- ・ ジェネリック医薬品について、患者に医師や看護師などが、もっと丁寧に説明すべきである。
- ・ ジェネリック医薬品を使用してもらいたいと医師に告げたことがありましたが、うちでは取り扱っていない、の一言でだめでした。医療費の軽減は我が家にとっては必要な部分ですが、医師の一言でだめと言われたら何もいえません。医師のほうはあまり使いたがらないような印象を受けたのですが、こちらの思い違いでしょうか。

か。またどのような医薬品があるのかも不明ですし、医師の言葉によると長期治療ならいいのですが、短期の場合はそう関係ないですよともいわれました。そういった情報は患者は知らずにいるということが少しひっかかります。

- 生命に関わることなので、行政主導で進めて欲しい。
- 利用したことがあるが、副作用などについてまだ少し不安がある。